

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひかりのいえ					公表日	R8年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1		活動スペースと静養のスペースの確保の工夫をしたいです。 マット上で動ける子に安全なスペースを確保してあげたいです。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2		児童指導員等加配加算や専門的支援体制加算、看護師加配加算を現状算定しています。 施設不足の医療的ケア児を主に支援していく方針のため、常勤専従の保育士採用や、看護師の新規採用を検討しております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1		定期的に環境構成や物の配置を見直していますが、死角になるスペースもあり、声をかけあいながら見守っています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1		医療的ケア児を主に支援させていただいているため、消毒や衛生管理には細心の注意を払っております。児の状態に合わせて空間や物品を臨機応変に調整しています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1		落ち着いて過ごしていただけるよう、スヌーズレン室や場所を変えるなど、子どもの意向を確認しながら支援して参ります。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2		支援や業務内容を振り返り、目標設定や業務改善を実施しておりますが、今後更に計画的に実施していきます。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		ウェブツールやお会いした際に意向等をこまめに聞き取り、かつ真摯に向き合い、日々の業務の中で意向を踏まえた業務改善を心掛けていきたいです。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		アンケートの実施やミーティングを通して、意見等を募る機会をつくっていきます。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	13		今後、検討をしていきたいです。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1		研修や訓練に全員が参加できるように計画的に行っていきます。			
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3	ホームページに掲載して公表しています。	ホームページの完成が遅れ、全員への周知が不十分でした。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1		こどもの意向や保護者ニーズの確認分析を、より詳細に実施していきます。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		専門職、看護、保育士それぞれの意見を踏まえ、スタッフ全員が共通理解の下で、支援を実施していきます。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	計画書は全職員が見ることができる場所に保管されています。	個別支援計画書や専門的支援実施計画書、アセスメントシート等、全職員の確認を徹底していきます。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		日々の観察やケアにより、専門職を中心にしたインフォーマルなアセスメントの確認をしています。フォーマルなアセスメントを利用も今後検討していきます。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		必要な項目は適切に設定しております。より具体的な支援内容等は個々のニーズにより設定しております。適切かどうかの見直しを定期的に行い、必要に応じて支援内容を変更していきます。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1		計画・立案をしながら、検証やより適切な方法がないかチームで確認しています。			

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1		集団あそびや製作など、季節や目標によって変更しています。日々のプログラムに変化を加えるよう、心がけています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		こどもの状態に合わせて、個別活動と集団活動、またその両方を重点的に行っています。集団あそびにおいても、1対1での関わりと複数の関わりと、あらゆる機会を持てるよう、心掛けています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1		ミーティングを実施、共有事項を書き出して、朝礼に参加できない職員にも周知できるよう工夫していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4		申し送り事項を閲覧、連絡ツール等を使用し、共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		より細かい気づきを各々記録し、保護者へ情報共有をしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		定期的なモニタリングにより、見直しの必要性があるか判断し、実施してまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		相談支援事業所や保護者等の希望により、専門性の高いスタッフが参画できるようにしていきます
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		病院の地域連携室との情報共有に努めます。協力医療機関による定期診察は毎月実施しています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2		保育所等との情報共有は相談支援事業所が中心となり、必要に応じて開催されています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		小学校からの依頼に応じて、個別支援計画書や日中の過ごし方、介助・医療的ケアについて情報提供を実施しています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	3		地域の児童発達支援センター主催の研修の機会を活用し、助言を仰ぐようにしています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		感染症や児童の特性・保護者の希望等を鑑みて、地域交流は厳しくはありますが、今後、開催できる方法を模索してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0		発達や使用物品の課題を検証・検討しながら、保護者へ対面、ウェブツール等にて提案や情報提供をごまめに実施しています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	情報提供は専門職が実施しています。	個別での面談等による相談支援等は実施しています。今後、家族向け研修の実施等検討してまいります。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2		運営規定や支援プログラムについては、ホームページを作成・広く公表します 個別支援計画書面談を通じて丁寧な説明をしていきます	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		より細やかに意向や意思を尊重できるように、個別支援計画書面談や、送迎でお会いした際や連絡ツールを通して確認していきま	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0		支援計画を面談時に詳しく確認し同意を得ると共に、意向やニーズを支援内容に反映できるよう、柔軟に対応していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		個別支援計画の面談に合わせて、個別の相談支援面談のご希望も募っています。必要に応じて、専門職、看護師による相談支援を実施しています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		まだ設けてはおりません。今後、何らかの形で実現を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		速やかに連絡、相談や面談機会を設け、苦言や意向を伺い、改善のための必要な情報収集、支援提供を模索、業務改善につなげていけるよう努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	ウェブツールのHUGシステムにて実施しています。	ホームページの作成し、月に1回更新しているブログにて発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		個人情報の取り扱いについては職員間で注意を呼びかけあっています。ケースにより、インシデント・アクシデントレポートを提出
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		複数の職員で伝達内容を確認しながら、資料を提供するなど工夫しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	2		事業所の行事に、ボランティアを依頼しています。今後、地域住民の方を呼ぶ機会を模索していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		各種マニュアルを作成、整理しています。緊急時対応マニュアルなど、個別支援計画や契約時に説明をしていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		業務継続計画の見直しを行い、関係機関への情報収集や連携方法を確認していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0		保護者や相談支援事業所を通して、情報共有を行っています。こどもの予防接種についてどこまで把握するか検討していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		アレルギーのあるこどもへの、飲食の提供はありません。提供する機会があれば保護者と医師の指示に基づいて行います。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		防災訓練等の研修の実施をブログを通じて公開します。安全計画の作成と見直しを行い、研修や毎月の設備点検を実施してまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		家族等への周知は今後行います。（ホームページでの掲載・個別支援計画書の面談時等）
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0		ヒヤリハットやインシデント・アクシデントレポートを積極的に作成し、再発防止策についてもミーティングを行うなどして検討しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		虐待防止委員会を設置し、研修を行っています。全スタッフが参加できるように計画的に実施します。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		身体拘束となる事例や場面はないですが、やむを得ず身体拘束を行うケースがあれば、保護者やマニュアルに基づき、適切に対応します。	